

拠出金・基金
の名称

国連世界食糧計画拠出金

種 別

イヤマークのみ 一部イヤマーク

【拠出先の国際機関名】国連世界食糧計画(WFP)

【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部海外投資・協カグループ／国際機構グループ

【当該任意拠出金の目的・用途等】

WFPは、国連唯一の食料支援機関で、かつ世界最大の人道支援機関であり(1)食料配布(2)成長や教育を目的とした食料支援(3)労働・職業訓練の対価としての食料支援(4)小規模農家の生産性向上のための食料支援(5)特別事業を実施している。

当該任意拠出金で実施する事業においては、内戦から復興途上にある西アフリカ諸国を対象に、内戦等で破壊された水田等の稲作生産基盤の復旧や低コストな稲作生産技術、収穫後のコメの加工・貯蔵技術などを、農家や技術者を対象に研修を通じて支援することで、コメの中長期的な生産性向上を支援する。

【最近3年間の我が国支払額及びODA率】

単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成28年度	64,470	537	-	1米ドル=120円	100%
平成27年度	82,649	751	-	1米ドル=110円	100%
平成26年度	80,979	835	-	1米ドル= 97円	100%

【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】

フード・フォー・ワーク(労働の対価として食料を供与する住民参加型の農村開発事業)のスキームを活用し、平成28年度はリベリアにおいて68ha、シエラレオネにおいて5.3haの水田の復旧とその後の農地耕作を行うと共に、農家等を対象とした各種研修を実施した。

当該任意拠出金は、第4回アフリカ開発協議(TICADIV)において、我が国がアフリカ緑の革命のための同盟(AGRA)と共同で提唱した、サブサハラ・アフリカのコメ生産を向こう10年で倍増することを目的とするアフリカ稲作振興のための共同体(CARD)イニシアチブに貢献するとともに、当事業の成果は事業対象国における食料安全保障の確立に貢献するものであると評価できるため、我が国が拠出する意義は大きい。

【備考】